

# リオン株式会社

## 2017年3月期決算ダイジェスト

東証一部 証券コード〈6823〉

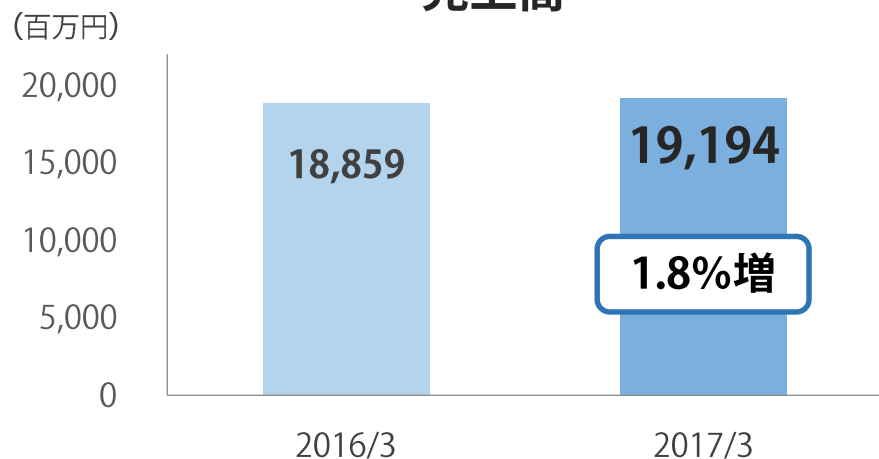
免責事項 | 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 5期連続で増収を達成するも、 利益面では前期を下回る

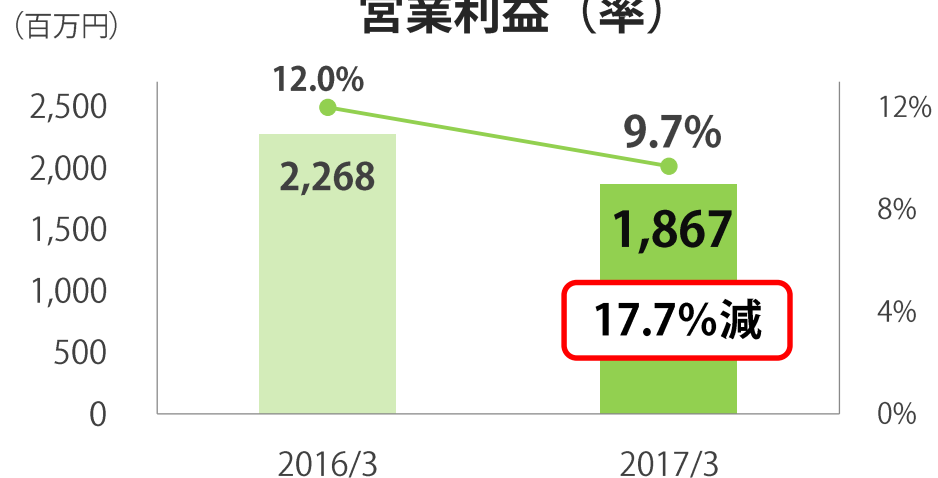
- 電子デバイス関連市場において、微粒子計の販売が大きく増加。
- 補聴器では多数の新製品投入や積極的な販促活動により、売上高は前期を上回ったが、販売費の増加により減益に。
- 遊休資産に係る減損損失を特別損失に、投資有価証券売却益を特別利益に計上。ほぼ同額であったことから損益への影響は軽微。

# 決算ハイライト (連結)

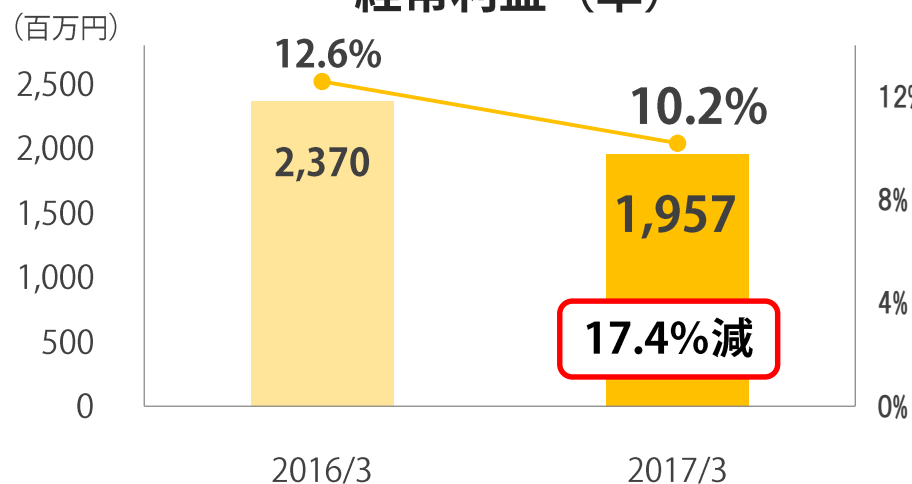
## 売上高



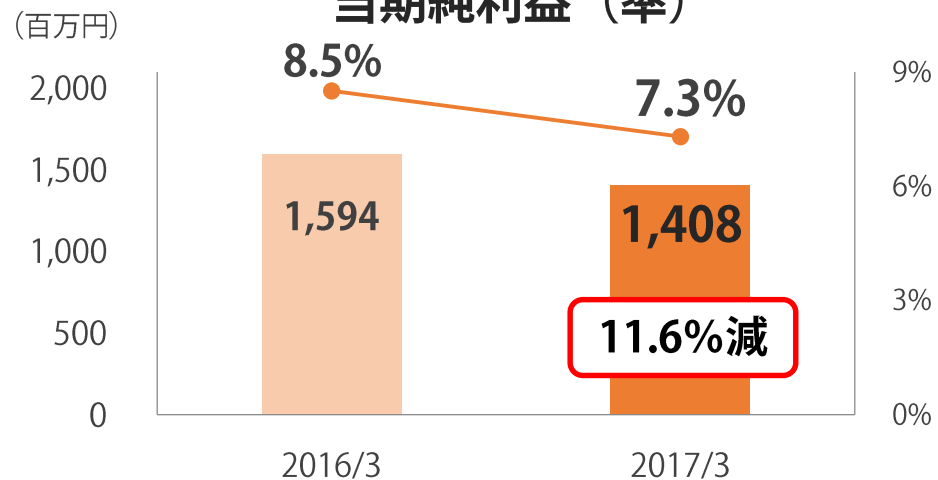
## 営業利益 (率)



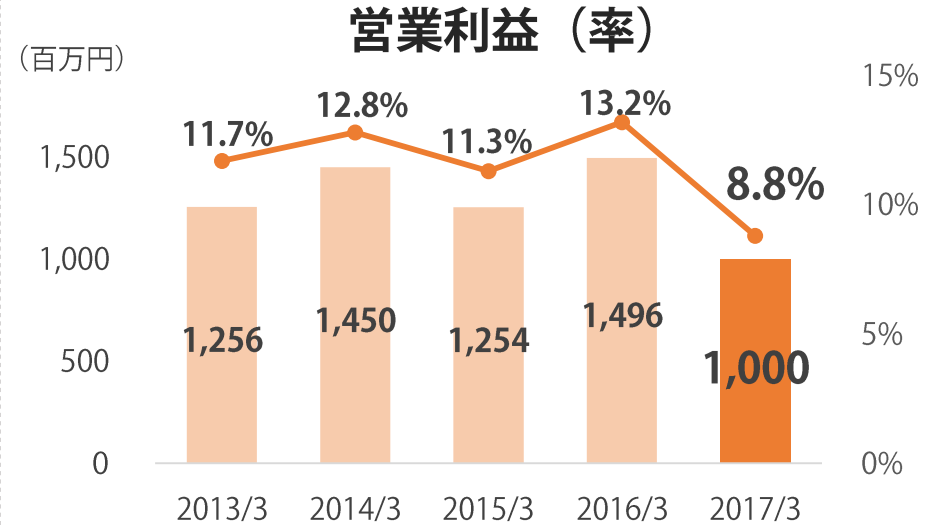
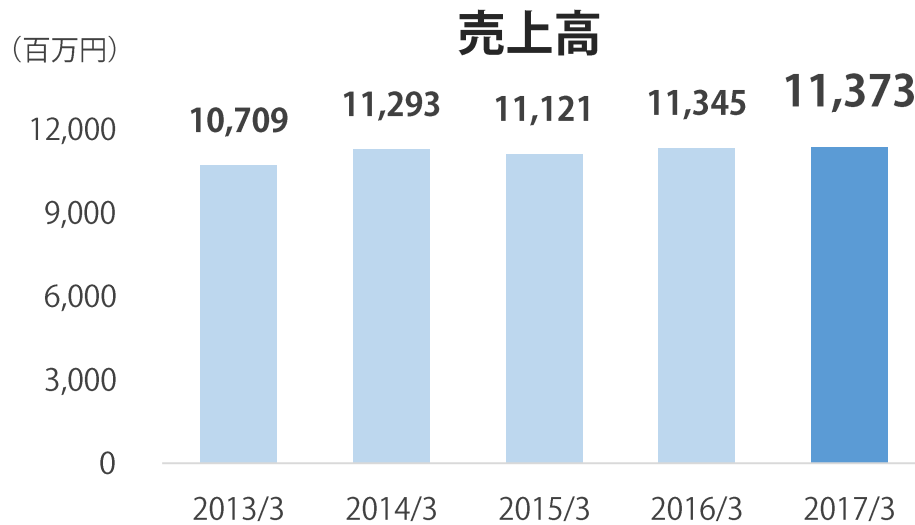
## 経常利益 (率)



## 親会社株主に帰属する 当期純利益 (率)

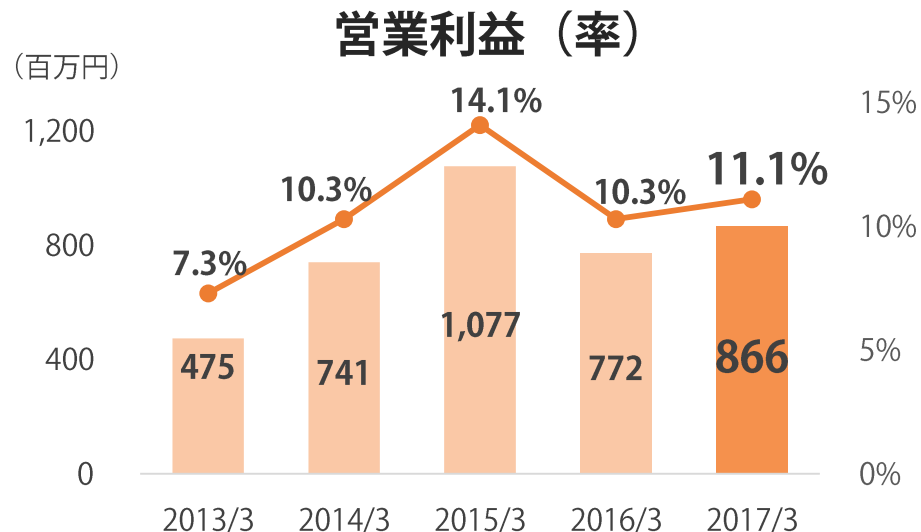
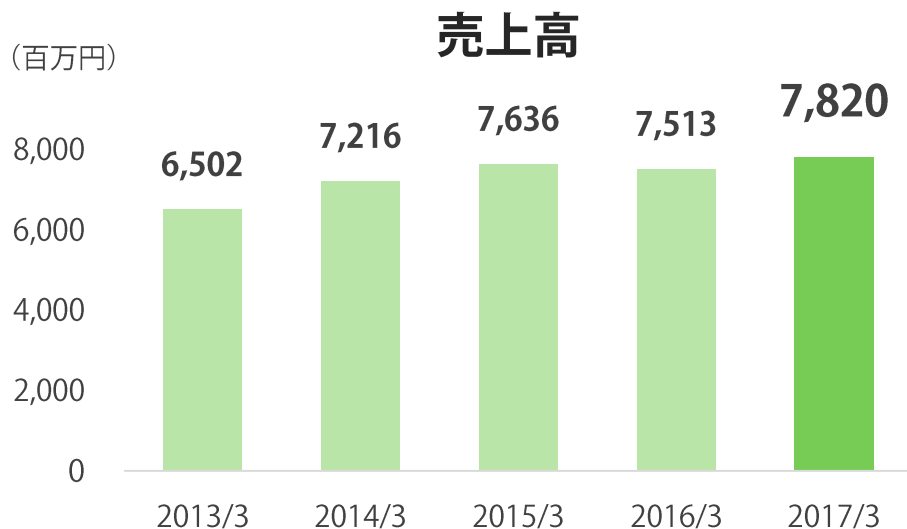


### 前期比で増収も、販売費の増加により減益に



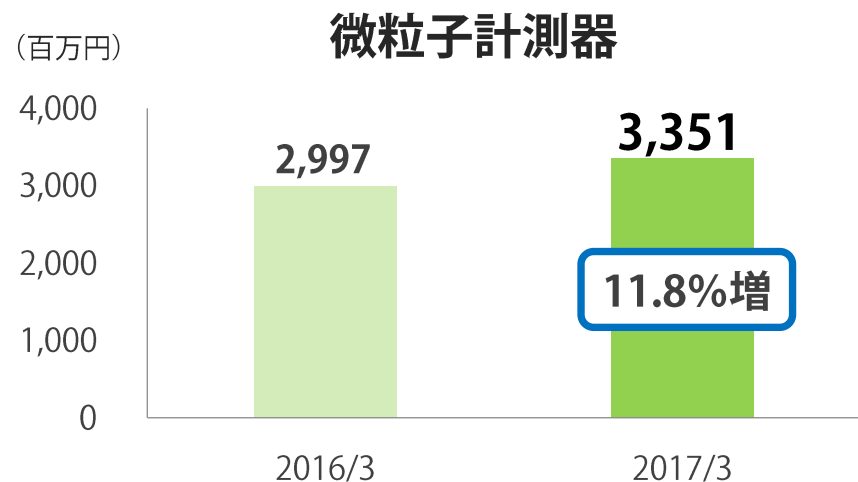
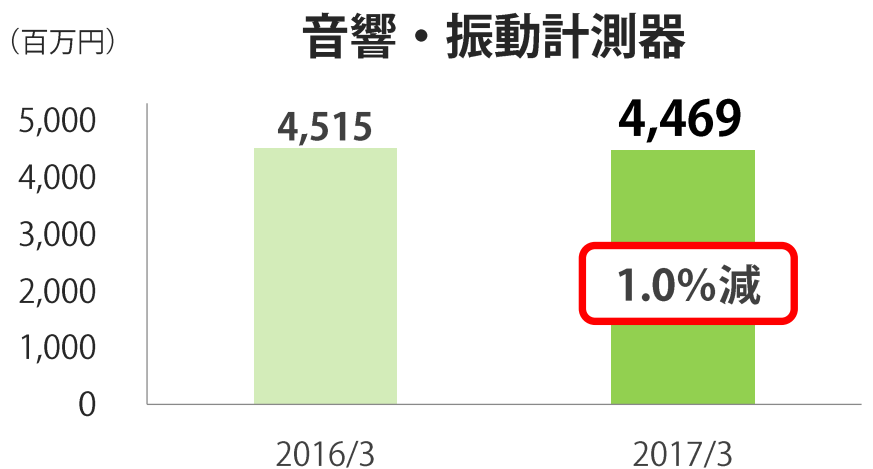
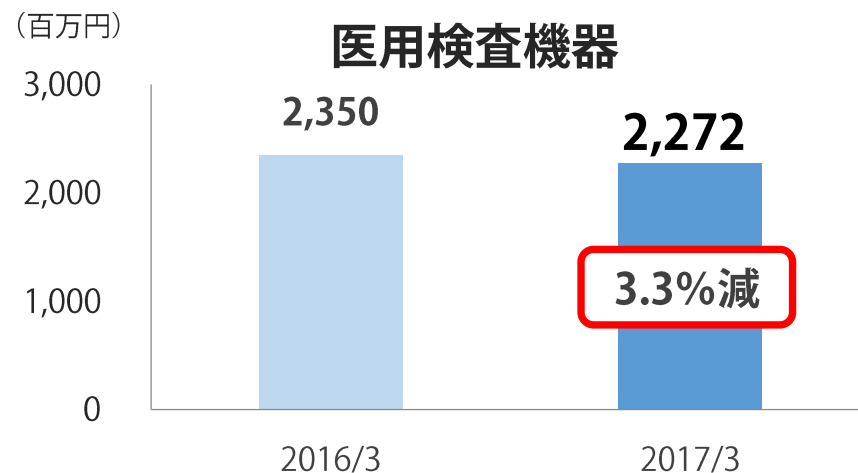
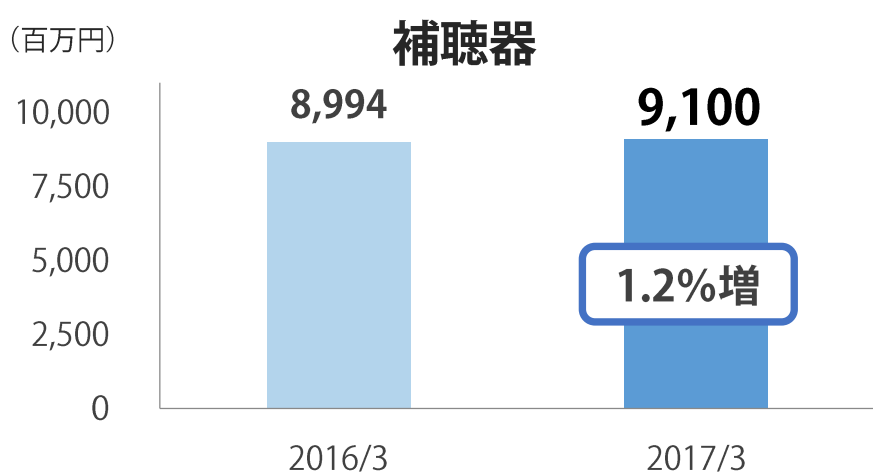
- 補聴器は7月に多数の新製品を発売したほか、積極的な販促活動を展開。販売子会社を新たに連結したこともあり増収に。
- 医用検査機器は高額製品の販売が好調に推移。総合病院や大学病院等への聴力検査室の販売は伸び悩み、売上高が前期を下回る。

### 微粒子計が好調に推移し、事業全体で増収増益に



- 音響・振動計測器は、建設工事の増加により騒音計や振動計の販売が堅調に推移。自動車関連工場等における設備投資や年度末に向けた大型受注が伸び悩み減収に。
- 微粒子計測器は電子デバイス関連市場の旺盛な設備投資意欲により、海外では最先端機種の販売が好調。売上高は前期を大きく上回る。

# 製品群別の売上高の推移



---

1月25日 [内部統制に係る基本方針の改定に関するお知らせ](#)

---

2月14日 [人事異動に関するお知らせ](#)

---

2月25日 [大阪で個人投資家向け説明会を実施](#)

---

3月14日 [業績予想の修正に関するお知らせ](#)

---

3月15日 株主様向け 第2回「はじめての補聴器講座」を開催

---

※ 下線はURLリンクが付いています。